

郵便サービス水準の評価等に関する研究会（第7回）議事要旨

1 日時

平成20年5月15日（金）15：00～16：20

2 場所

総務省5階第4特別会議室

3 出席者

(1) 構成員（五十音順、敬称略）

大河内 美保、田尻 嗣夫、松崎 陽子、味水 佑毅、山下 穰、

(2) 総務省

橋口郵政行政局長、原口企画課長、後藤郵便課長、坂入郵便課課長補佐

4 議題

(1) 報告書（案）のポイントについて

(2) その他

5 議事概要

【報告書（案）のポイント】

- 資料1及び資料2について事務局より説明。
- 質疑応答における構成員からの主な発言の内容は以下のとおり。
 - ・ 報告書そのものを、小包まで広げる必要はないが、これは、郵政行政全体の土俵の中の個の部分で議論した報告書であるということを明示しておくことよい。
 - ・ 送達日数達成率の公表については、1回の年平均じゃないという意図がはっきり伝わるようにすべき。
 - ・ アンケート等は国が全部一からやるのではなく、既存の或いは、今後実施されるものを総合するような仕組みがあるとよい。
 - ・ 行政当局の体制の問題や、国と民間事業者との役割分担についても今後の課題の一つに入れてはどうか。

【その他】

- 会合は今回をもって終了することとし、事務局において、各構成員からの意見を踏まえた文言の整理等を行い、5月末を目途に報告書を公表することとされた。

以 上